

公益社団法人地盤工学会 平成 23 年度 第 6 回総務部会
議 事 録

日 時：平成 23 年 11 月 15 日（火）15:15～17:15	場 所：学会 3 階会議室	
出席者：木村 亮 部 長	八 嶋 厚 副会長 （Web）	
西江 俊作 理 事	田中 耕一 理 事	岩崎 公俊 部 員 ×
高橋 章浩 部 員 ×	深澤 和行 部 員	堀 俊和 部 員
八塩 晶子 部 員 ×		
事務局：戸塚 弘	事務局：鈴木 徳和	事務局：松本 雅樹

（議事録担当者： 深澤 部員）

（ :出席、×：欠席）

議 題：

【報告事項】

- 1．経理関係報告 〔別紙 - 1〕 pp. 1-2、〔別添資料 - 1〕
西江理事より、経理関係の現状報告が行われた。
- 2．広報関連 〔別紙 - 2〕 pp. 3-11
 - 1) 最近の広報委員会の活動
田中理事より、報告があった。
 - ・新しい企画（学会職員の現場見学レポート）に関しては、HP だけでなく学会誌に掲載することも検討する。
 - ・メディア懇親会の座長は 3 年間程度期間で交替することを検討する。次期座長は現座長の安田先生に推薦頂くのも一案。
- 3．学会が著作権（編集著作権）を有する刊行物の取扱い 〔別紙 - 3〕 pp. 12-22
三木先生に確認。分類 A：帰属は学会（委員会等の名の下に執筆・編集）、分類 B：著作書と学会（執筆と委員会等での編集の作業度合いに応じて）、分類 C：執筆者（学会の編集度合いは僅か）。論文や S & F 投稿は、C 分類にあたるため、学会が持っている編集著作権の許諾申請をしていただくだけで、各自の論文の出版化は可能とする。
- 4．第 16 回「震災対策技術展」(H24.2.2(木))における講演依頼 〔別紙 - 4〕 pp. 23-25
* 北誥昌樹 氏（東京工業大学理工学研究科土木工学専攻）に依頼（テーマ：「首都圏の脆弱地盤対策」）
北誥昌樹先生に了解を頂く。
- 5．その他
なし

【審議事項】

- 1．平成 24 年度事業方針・計画案 〔別紙 - 5〕 pp. 26-33
平成 24 年度総務部方針・計画（案）
 - ・総務関係の（1）文面を再検討する。例として、「中長期の検討課題の具現化……」など
 - ・経理関係の「（2）公益法人対応の財政面での支援」内の文面で「公益事業 1 年分以内の遊休財産の確保」を「遊休財産は公益事業 1 年分以内に抑える」に変更する。
 - ・その他変更点がある場合は、木村部長まで連絡する。
- 2．平成 24 年度第一次予算案 〔別添資料 - 2〕、〔別紙 - 22〕 pp. 96-97（当日配布）
西江理事より、平成 24 年度第一次予算案について説明された。
 - ・総務部員で分担して各部の一次予算案を精査して、疑問点等を抽出する。
 - ・分担 総務部：西江理事、会員・支部部：田中理事、国際部：岩崎部員、事業部：深澤部員、調査・研究部：堀部員、基準部：木村部長、管理費：西江理事、共通費：岩崎部員
 - ・1 週間程度で精査して、西江理事に報告する。

3. 平成 24 年度事業計画「まえぶん」作成依頼 [別紙 - 6] p. 34
提出期限 (2/3) 近くに各部長に再度提出のアナウンスを行う。
4. 「アカデミックロードマップと発展史・人物史」の準備委員会設立趣意書 (案) [別紙 - 7] p. 35
来年度予算 60 万円程度を予定しているが、2 次予算案に向けて 30~40 万円程度に圧縮する。
5. 「(財)道路保全技術センター」からの寄附申込について [別紙 - 8] pp. 36-41
- 1) 理事会メール審議 (H23.11.7) の結果
 - 2) 具体的な運用方法、及び規程 (案)
 - 3,000 万円を 600 万円ずつ 5 ヶ年計画で運用する。このうち、調査研究費 2,400 万円、事務経費 600 万円。
 - ・資金規定を作成して理事会で承認を受ける必要がある。
 - ・4 つ程度のテーマの調査・研究内容が設定されている。
 - ・12 月中には公募をかける必要がある。応募資格は原則として学会員とする。
 - ・総務部会内も含め、選考委員会の設置を検討する。
6. 本部支部懇談会議題の確認 [別紙 - 9] p. 42
「部の再編と事務局グループ制」の審議で、総務部長に説明を求められることが想定されるので、木村部長がプレゼン資料を作成する。
7. 災害関連 (【報告事項】を含む)
- 1) 茨城県鹿島市からの技術支援ボランティアの依頼経過 [別紙 - 10] pp. 43-44
ボランティアとして、高森洋会員を紹介。
 - ・今後、高森会員に活動状況をインタビューして、広報関係の素材として活用する。
 - ・技術支援ボランティアの初めての事例であることから、HP に鹿島市に紹介した実績について掲載することを検討する。
 - 2) 建設技術研究開発助成制度 3 次補正による公募申請への対応 [別紙 - 11] pp. 45-50
 - ・学会としてテーマ 1 及びテーマ 2 に 1 つずつの応募を検討。
 - ・応募は学会などの機関ではなく、個人となる (申請者と実行者は同様)。
8. 理事会の運営に関する会長からの要望事項 (総務部関連)
- 1) 11 月理事会での共通検討課題 (予定): 公益社団法人としての事業展開
木村部長が資料作成。
9. 建設系 7 学会会長懇談会 (H23.12.1) ならびに 9 学協会会長懇談会 (H23.12.8) [別紙 - 12] pp. 51-59
での議題における資料の検討
資料の内容を確認。
10. 鹿島学術振興財団 2011 年度研究助成申請の確認 [回収資料]
申請内容の確認・了承。
11. 土木学会国際貢献賞及び国際活動奨励賞候補者の推薦依頼 (推薦締切: H24.1.20) [別紙 - 13] pp. 60-67
理事会等に情報を提供。12 月いっぱい候補者が出れば、1 月の総務部会で審議して推薦者を決定。
12. 日本学術会議環境工学連合講演会での講演者について [別紙 - 14] p. 68
運営委員である勝見 武先生 (京大) に講演者の推薦を一任することを了承。
13. 総務部から推薦する「事業企画賞」の候補案選出 [別紙 - 15] pp. 69-70
中学 1 年生からの問い合わせを候補として調整する。
14. ショッピングカートの改修に伴う追加仕様の要望確認 (事業部からの依頼) [別紙 - 16] pp. 71
可能であれば使用してみて、要望等があれば報告する。
15. その他
- 1) 共催、後援、協賛等の依頼【 は総務部長の承認済】 [別紙 - 17] pp. 72-82
 - 「第 13 回建設ロボットシンポジウム」の後援 主催: (社)日本ロボット工業会 H24.9.11
 - 「第 17 回計算工学講演会」の後援 主催: 一般社団法人日本計算工学会 H24.5.29-31
 - 2) HP、メールニュース等による会員への周知【 ~ は総務部長の承認済】 [別紙 - 18] pp. 83-87

連続シンポジウム「巨大災害から生命(いのち)と国土を護る - 24学会からの発信 -」

第1回「今後考えるべきハザード(地震動、津波等)と規模は何か」の開催 H23.12.6

主催：日本学術会議 東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

独立行政法人 海洋研究開発機構 地球内部ダイナミクス領域任期制職員の募集(応募締切日：23.11.25)

独立行政法人 海洋研究開発機構 研究支援部よりの依頼

「Kyoto Seminar 2012～大都市沿岸域の広域複合地盤災害について～」の開催 H24.1.12

主催：京都大学防災研究所 後援：国際地盤工学会 TC303 on floods 他

「平成24年度(第39回)環境賞」候補の募集(応募締切日 H24.1.20) (財)日立環境財団よりの依頼

3) 各部からの11/30(水)理事会提出議題の確認 [別紙-19] pp. 88-89

確認した。

4) 議事録の確認

10/18 総務部会 [別紙-20] pp. 90-91

10/28 理事会(書面会議) [別紙-21] pp. 92-85

確認した。

5) 次回の総務部会、理事会等の開催期日の確認

表彰委員会(H23-2) 11/30(水) 10:00～12:00

正副会長会議 11/30(水) 12:00～13:00

理事会 11/30(水) 13:30～15:30

本部支部懇談会 11/30(水) 15:30～19:30

総務部役員会 12/13(火) 14:00～15:00

総務部会 12/13(火) 15:00～17:00

確認した。次回の部会后、忘年会。

6) 総務部からの11/30理事会提出議題の確認

下記を確認した。

審議事項：平成24年度事業方針・計画案、平成24年度第一次予算案、「(財)道路保全技術センター」からの寄附申込、平成24年度会長・副会長一次候補者案

報告事項：経理関係報告、広報関連報告、災害関連報告、「アカデミックロードマップと発展史・人物史」の準備委員会設立趣意書、鹿島学術振興財団2011年度研究助成申請、土木学会国際貢献賞及び国際活動奨励賞候補者の推薦依頼(推薦締切：H24.1.20)、日本学術会議環境工学連合講演会での講演者について、共催・後援・協賛等の依頼、HP・メールニュース等による会員への周知